

# 熊取町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の概要

## 1. はじめに

教育職員が自らの働き方を見直し、指導力を磨くとともに、知識や想像力、人間性を高めることで、学校教育の質を向上させるため、今般、熊取町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画を策定する

## 2. 町立学校における現状

町立学校全体における時間外在校等時間は縮減傾向にあるが、令和7年度においても年間時間外在校等時間が720時間を超える教育職員が多数見込まれ、対策が急務となっている

## 3. 計画の期間

令和8年度～令和11年度

## 4. 目標 ※【 】内は令和6年度実績

### (1)時間外在校等時間に関する目標

- ①町立学校における1人あたりの平均年間時間外在校等時間を360時間以内にする【小550.8時間、中657.6時間、町592.0時間】
- ②年間時間外在校等時間が360時間を超える人数の割合を前年度よりも減少させる【小72.3%、中90.4%、町79.3%】
- ③年間時間外在校等時間が720時間を超える人数の割合をゼロにする【小26.2%、中39.8%、町31.5%】
- ④月の時間外在校等時間が45時間を超える人数の割合をゼロにする【小48.9%、中58.9%、町55.2%】

### (2)ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標

- ①教育職員の年次有給休暇平均取得日数を16日以上とする【14日7時間】
- ②教育職員のストレスチェックにおける高ストレス者の割合を10%未満にする【15.4%】

## 5. 実施する業務量管理・健康確保措置の内容

本町での本計画期間中の重点事項

### (1)「業務の3分類」を踏まえた業務の見直し

イ 学校以外が担うべき業務

- ①登下校時に通学路における日常的な見守り活動
- ②放課後から夜間などにおける校外の見回り
- ③過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応困難な事案への対応

ロ 教師以外が積極的に参画すべき業務

- ①調査・統計等への回答
- ②部活動

ハ 教師の業務だが、負担軽減を促進すべき業務

- ①授業準備、学習評価や成績処理
- ②支援が必要な児童生徒・家庭への対応

### (2)学校における措置の推進

- ①年度当初の計画段階で、真に必要な授業時数となるよう年度当初の計画段階で設定
- ②活動等の見直し、清掃時間・頻度の見直し、放課後の活動時間の時間内での設定など、日課表の工夫
- ③デジタル技術の活用による授業準備や採点業務などの校務を効率化
- ④勤務時間外の留守番電話機能を継続

### (3)教育職員の健康及び福祉の確保に関する取組

- ①1箇月時間外在校等時間が80時間を超えた教育職員に対する医師面談
- ②11時間を目安とする勤務間インターバルの確保
- ③ストレスチェックの有効活用
- ④年次有給休暇の所得促進
- ⑤定時退校日、一斉閉校期間の設定

## 6. 関連する取組、今後のフォローアップについて

本実施計画の実行性を確保するため、関連する取組や今後のフォローアップを実施する

- ・在校等時間の状況を把握、町HPでの公表
- ・教育委員会や総合教育会議等へ実施状況を報告
- ・研修の充実等、教育委員会からの支援の強化 等